

以文社

新刊のご案内

11月21日(取次搬入)発売予定!

デヴィッド・グレーバー 著

負債論

貨幣と暴力の5000年

『負債論』は21世紀の『資本論』か？

重厚な書として異例の旋風を巻き起こした世界的ベストセラーがついに登場!

現代人の首をしめあげる負債の秘密を、貨幣と暴力の5000年史の壮大な展望のもとに解き明かす。資本主義と文明総体の危機を測定し、いまだ書かれざる未来の諸可能性に賭ける、21世紀の幕開けを告知する革命的書物。トマ・ピケティなど、欧米で絶賛!

【欧米の批評】

「新鮮・魅力的・挑発的、そしてとんでもないタイミングのよさ」(『ファイナンシャル・タイムズ』)

「われわれの経済の荒廃、モラルの荒廃の状態についての長大なフィールド報告。人類学の最良の伝統のなかで、グレーバーは債務上限、サブプライムモーゲージ、クレジット・デフォルト・スワップを、あたかも自己破壊的部族のエキゾチックな慣行のように扱っている。大胆かつ魅力的な文体で書かれた本書はまた、負債の本質—その由来と発展の様式—についての哲学的探究でもある」(『ニューヨーク・タイムズ』)

デヴィッド・グレーバー (David Graeber)

1961年、ニューヨーク生まれ。文化人類学者・アクティビスト。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス大学人類学教授。
訳書:『アナキスト人類学のための断章』(以文社、2006年)
『資本主義後の世界のために』(以文社、2009年)

【訳者】

酒井 隆史(さかい たかし)監訳

大阪府立大学教員、専攻は社会思想史、都市文化論。主要著書に『自由論』『暴力の哲学』『通天閣』などがある。

高祖 岩三郎(こうそ いわさぶろう)訳

翻訳家・批評家・Autonomedia編集委員。1980年渡米、ニューヨーク在住。画商・グラフィックデザイナーであると同時に翻訳・執筆活動に従事。

佐々木 夏子(ささき なつこ)訳

翻訳家。在仏。現地にて翻訳業に従事。

A5判 上製カバー装 848頁 本体価格:6,000円 (定価:6,480円)

希望陳列コーナー:現代思想・ビジネス経済・金融危機関係

以文社 ISBN 978-4-7531-0334-8 C0036 本体価格:6,000円 (定価:6,480円)		
帳合・番線	ご希望冊数	書名
		負債論 貨幣と暴力の5000年 デヴィッド・グレーバー 著 酒井隆史 監訳 高祖岩三郎・佐々木夏子 訳

※指定配本の都合上11月13日までにFAXまたは電話にてご返信お願い致します。